

第 49 回日本母性衛生学会

タイトル

妊娠初期から産後 6 ヶ月における母体血液内の鉄、葉酸の推移

ピジョン株式会社 中央研究所¹⁾

助産院ベビーヘルシー美蕾²⁾

板子絵美¹⁾、飯田光雄¹⁾、瀬井房子²⁾

【目的】

妊娠中から産後における縦断的栄養調査を実施した例は少なく、また食事からの栄養摂取量と生体内における栄養状態を同時に調査した例は少ない。我々は妊娠初期から産後の栄養摂取と血液内の鉄、葉酸の推移を把握するために研究を開始した。

【対象】

研究の目的・方法を説明し、調査に同意を得られた茨城県に在住の妊婦（調査開始時の平均年齢 33.9 歳±2.8、妊娠前平均 BMI 20.0±2.2）、また出産後母乳育児を実施していた 15 名。

【方法】

妊娠初期(平均妊娠週数 11.1 週±1.5)、末期 (30.1 週±1.0)、産後 6 ヶ月(平均産後週数 28.1 週±2.3)の計 3 回、血液検査(医師による通常健康診断を目的とした血液検査項目に加え、血清フェリチン値、血清葉酸値の測定を追加した。また産後は健康診断の中で妊娠中と同じ項目を計測)を実施した。また協力が得られた 8 名には食事調査も血液検査と同時期に実施した。

【結果・考察】

血色素量、ヘマトクリット値、血清フェリチン値に関しては、妊娠初期から末期にむけて減少し、産後 6 ヶ月にかけて上昇する傾向がみられたが、産後血色素量 11.5g/dl に満たないものが 1 名、血清フェリチン値が 10ng/ml に満たない者が 3 名みられた。また、血清葉酸値に関しては産後 3ng/ml に満たないものが 2 名にみられた。